

唯皇道精神丈ヲ注入シテ軍部ヲ統率シヤウトシタ荒木前陸相モ  
農村問題ヲ解決セズシテハ日本軍隊完全ナラズト云フコトノ結  
論ヲ下シタ

トロツキ一モ亦此ノ點ニ就テ一日本ガ他國ト戰爭シテ持久戰ニ  
入ラバ日本軍隊ハ生活水準ノ低イ農民出ノ兵士バカリデアルカ  
ラ体力ノ點デ敗レルデアロウト云ツテ居ル軍人モ之ヲ考ヘザ  
ルヲ得ナイ、

世界戰爭ノ危機ヲ感ズル今日國民ノ背後ヲ脅ス生活問題ガアル  
コトニ軍部ガ氣附イテ來タ 即チ軍部ハ從來ノ觀念論カラ生活  
ヲ考ヘル様ニナツタ 此ノ時軍部ハ我々ト同様ノ線列ニ迄下ツ  
テ來タノデアル

一時昂揚サレタ軍部ノフアツシヨ的氣分ハ斯ク清算サレテ來テ  
居ル、軍部ノミナラズ官僚ト云ハズ又會社員ト云ハズ皆夫々若  
イ人達ニ依ルゼネレ一シヨニ向ツテ進ンデ居ル

大藏省事件等モ少壯法曹家ノ間ニ於テ第二ノ合法的五・一五事  
件ダトノ氣分ガ持タレツ、アルコトモ其ノ顯レノ一ツデアアル  
我陣營カラノ代議士ハ唯三名デアアルガ我等ハ之ヲ悲觀セズ此ノ  
三名ノ力ニ依ツテマモヨク飛躍スルコトガ出來ルノデアリ、此  
支配陣營ノ崩壞ノ中ニ此ノ勢力増大ノ道ヲ見出し得ルノデアアル、  
自己ノ陣營ニ弓ヲ引ク人ヲ擯ミ之ヲ道具ニ使フコトニ依ツテ時  
代ハ流レルノデアアル、

彼ノ幕末ニ於ケル勸皇黨ノスローガンデアツタ「尊皇攘夷」モ  
幕末ノ頃ニ於テハ「攘夷」ヲ協調シタガ夫レハ攘夷ノ爲ノ攘夷  
デハナク、維新ノ爲ニ叫バレタ 明治トナルヤ盛ニ西歐ノ文物  
ヲ吸收シテ「攘夷」ノスローガンハ「文明開化」ト變ツタコト  
ヲ我々ハ深ク味ハネバナラヌ

幕末ニ於テハ「攘夷」モ一ノ手段デアツタカハ知ラヌガ本質デ  
ハナカツタ此ノ事ハ後ニナツテ明カニ見ルコトガ出來ルガ之ヲ